

2 米穀等安定生産・需要開拓総合対策事業

令和8年度予算概算決定額 1,514百万円 (前年度 -)

〔令和7年度補正予算額 2,384百万円〕

〈対策のポイント〉

新たな食料・農業・農村基本計画においては、農業者の急速な減少や高齢化が見込まれる中、人・農地等の資源をフル活用した食料自給力の確保を位置付けたところであり、**米の需給及び価格の安定**に向けて、**種子の安定供給、生産コストの低減等による生産性の向上、輸出や米粉等の需要拡大、流通円滑化等**を進める必要があります。このため、**用途ごとの米に関する生産から消費までのそれぞれの取組を総合的に支援**します。

〈政策目標〉

- 米の生産コストの低減 (15ha以上の経営体: 11,350円/60kg [令和5年度] → 9,500円/60kg [令和12年度まで])
- 稲、麦、大豆の国産種子需要に対する供給率 (100% [令和12年度まで])
- 米・パックご飯・米粉及び米粉製品の輸出量 (35.3万t (原料米換算) [令和12年度まで]) 等

1. 米穀等生産力強化促進事業

714百万円 (前年度 -)

〔令和7年度補正予算〕184百万円

① 持続的種子生産総合対策事業

高温耐性や多収性などの多様なニーズにも対応した安定的な種子の生産・供給体制の構築に向けた取組や新規採種農家の参入促進等を支援します。



② 生産力強化に向けた稲作経営モデル確立支援事業

稲作の大幅なコスト削減に向けた地域全体で取り組む経営分析や革新的な技術の実証等や、労働力不足への対応策となる直播の導入等を支援します。

3. 米穀等需要開拓事業

220百万円 (前年度 -)

① 米需要創造価値推進事業

米の消費量減少に歯止めをかけるため、**米の付加価値への理解に繋がる、年代ごとの食生活や意識変化**に対応した情報発信の取組を支援します。

② 米・米加工品輸出拡大推進事業

日本産米・米加工品の更なる輸出拡大に向け、**進出候補先国・地域の市場リサーチや海外需要開拓・定着、有望な輸出産地の形成等**の取組を支援します。



2. 米穀流通円滑化促進事業

30百万円 (前年度 -)

〔令和7年度補正予算〕200百万円

① 米穀流通情報整備事業

米穀の国内需給状況を的確に把握するため、販売価格、販売数量等のデータ(POSデータ等)に基づき販売、消費等の動向の調査・分析を行います。

② 米流通効率化支援事業

流通構造の合理化・効率化等に向け、**流通等の共同化や産地と実需者との長期契約に基づく直接取引等**の取組を支援します。

4. 米穀需給安定対策事業

550百万円 (前年度 -)

〔令和7年度補正予算〕2,000百万円

① 米粉需給創出・利用促進対策事業

国産米粉の特徴を活かした新商品の開発、米粉製品の利用拡大に向けた情報発信、製粉企業・食品製造事業者の規模拡大の取組等を支援します。

また、米粉用米の安定供給に向けた原料米の複数年契約の取組を支援します。



米粉パン

米粉麺

② 米穀需給変化対応事業

米の需給変化に即応し、加工用米・新市場開拓用米等の安定供給を実現するため、流通事業者が策定する需給安定計画に基づき、**各段階の関係者が連携しながら、供給力を強化**するために必要な取組を支援します。

